

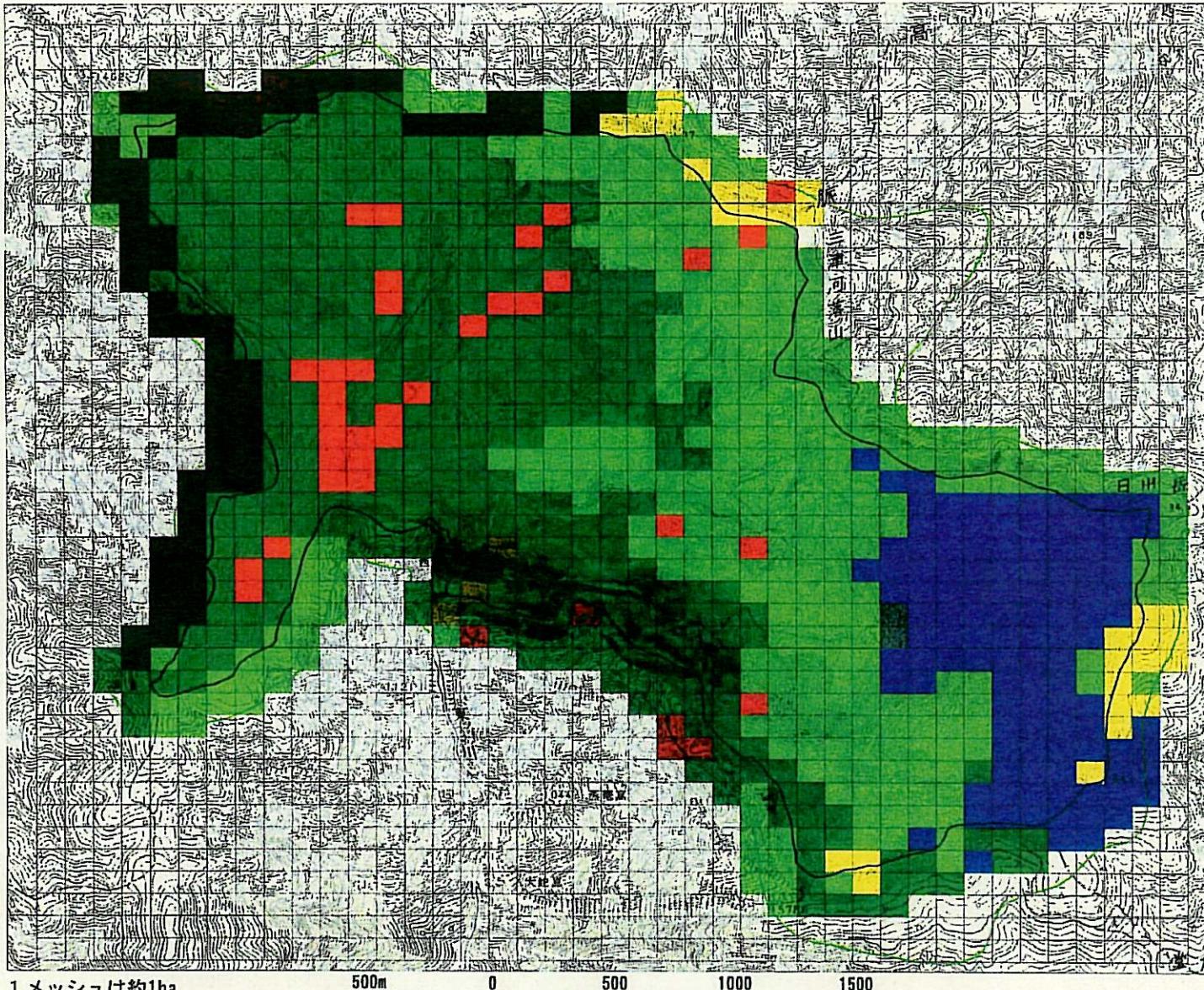
植生現況群落区分における既存文献との対応表

	今回の群落区分 *1		既存文献による植生区分	
	群落名	群落概要	井手 ほか1972 *2	菅沼1984 *3
針葉樹林帯	トウヒ群落	標高1550m以上に成立する、トウヒ、コメツガ等の生育する亜高山帯針葉樹林	トウヒ林 トウヒーウラジロモミ群落	イトスゲートウヒ群集
夏緑樹林帯	ブナーウラジロモミ群落	標高1550m以下に成立する、ブナ、ウラジロモミ等の生育する落葉広葉・針葉樹混交林の自然林	イトザサーブナ群落 スズタケーブナ群落 ミズナラーブナ林 ミズナラーコメツガ林 シャクナゲーブナ群落	ウラジロモミーブナ群集
	ブナーウラジロモミ代償群落	標高1550m以下に成立する、ブナ、ウラジロモミ、ミズナラ、リョウブ、ミズメ等の生育する落葉広葉樹・針葉樹混交二次林	マンサクーミズナラ群落 イトザサーワラジロモミ群落	リョウブーミズナラ群落
	トチノキーサワグルミ群落	標高1550m以下の渓畔に成立する、トチノキ、サワグルミ等の生育する落葉広葉樹林	トチノキーサワグルミ群落 メカラコウ一カツブシ群落 キンカガスケーアモリショウマ群落	トチノキーサワグルミ群落 バケイソウオイカヤハギ群落 テンニンソウ群落
	コウヤマキ群落	尾根筋の岩崖地に成立する、コウヤマキ、ハリモミ、ツツジ類等が生育する森林	スノキーコウヤマキ群落 懸崖植生	アケボノツツジーツガ群集 ツクシヤカネーヒノキ群集
針葉樹林帯・ 夏緑樹林帯の 両方に成立	ミヤコザサ群落	ミヤコザサが優占するササ草地。ゴヨウツツジ等が混生する群落も含む。	ヒナスゲーイトザサ群落	ミヤコザサ群落
	その他		タイザミーベニバナホウキ群落	

\*1: 今回の植生現況図における区分

\*2: 井手久登・龜山草, 1972, 大台ヶ原の植生

\*3: 菅沼孝之, 1984

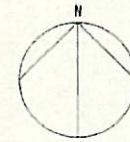


1 メッシュは約1ha

500m 0 500 1000 1500

1:25000

植生現況図（2002年）



凡 例

- トウヒ群落
- ブナ-ウラジロモミ群落<sup>※1</sup>
- ブナ-ウラジロモミ代償群落
- トチノキ-サワグルミ群落
- コウヤマキ群落
- スギ・ヒノキ植林
- ミヤコザサ群落
- 崖地・崩壊裸地
- 人工構造物等
- 環境省所轄地
- 調査範囲

<sup>※1</sup> 1947年・1998年の空中写真判読において  
樹高が15m以上の森林群落を示す。

(1998年空中写真および2001・2年現地調査より判読)